

産業事故防止のための安全文化診断手法

【キーワード】

産業事故

組織

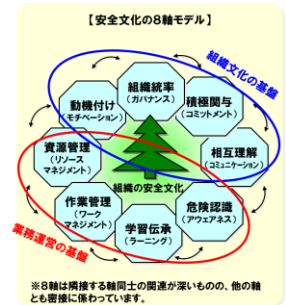
安全文化

診断

可視化

■概要

工場で起きる多くの重大事故(死亡災害・火災・爆発)は、個人のミスが主たる原因ではありません。長い期間をかけて組織が誤った判断及び些細な誤解を少しずつ積み重ね、その結果として不具合が顕在化したときに重大な問題が発生します。本研究では、網羅的な視点である「安全文化の8軸モデル」に基づき、「組織の劣化を早期に検知し、早い段階で対策を打つことを促す方法」について研究しています。



■詳細

網羅的な視点に基づいて作成されたアンケートを使用し、組織の現状について診断を行います。

それぞれの事業所の回答結果を、業界標準得点などとベンチマークすることにより、当該事業所の強み・弱みを可視化することができます。

また、部署別・世代別などの分析を通じて、自社・自事業所で支援が必要となる区分を絞り込み、組織の改善を効果的に進める第一歩として活用します。

○競合研究に対する優位性

- ・約100事業所・約10,000人規模の業界基準データを所有
- ・多くの事業所で実際に安全戦略立案の基礎データとして活用が始まっている
- ・区分別集計により多面的な分析が可能。組織改善のための議論を促す基礎データとして活用

○想定される実施例、応用例

- ・工場の安全活動の活性化、経営の改善
- ・組織診断結果に基づく改善活動の立案

■応用を期待する分野

- ・石油・化学業界等、大規模装置を組織的に運用する、数百人～数千人規模の事業所
- ・安全面・組織面で課題を抱える小規模事業所のサポート

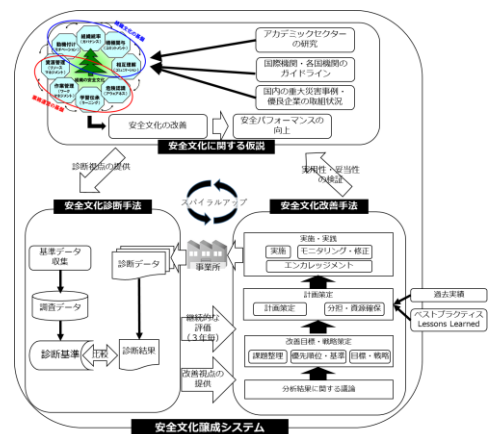


図 手法の全体像

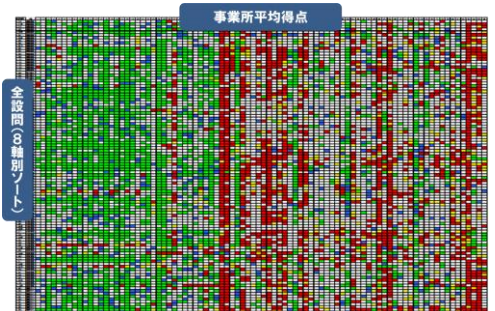


図 診断結果の例